第23号

2020年3月 発行

発行:湖南市人権まちづくり会議

【事務局】人権擁護課 〒520-3195 湖南市石部中央一丁自1番1号 (湖南市役所西庁舎1階) TEL.77-7036 FAX.77-4101 Eメール: iinkvo@citv.shiga-konan.lg.ip

「湖南市人権まちづくり会議が真のワンチームとなるために!」

2019年、ラグビーワールドカップ日本代義の活躍は、日本中に態動と勇気を与えました。その理由は、初のベスト8進出という結果だけでなく、「試合が終わればノーサイド」「菌籍主義をとらない代表選出制度」など、ラグビー文化そのものが多くの"にわかサポーター"にも受け入れられたからだと思います。その中でも、代表チームの中で語られた「ワンチーム」というフレーズは流行語大賞となり、メディアでも大きく取り上げられました。ただ、代表選手は、「ワンチーム」の使われ方に違和感を持ったそうです。会社の上部が都下たちに「これからはワンチームだ」と声をかけるのは「トップダウン」で、ラグビーの選手・スタッフ・コーチ障がまとまり試合に向けて努力するのは「*ブラッシュアップ」です。厳しい合宿に耐え、徹底的に話し合い、お互いを信じ、首分を犠牲にすることもいとわない。そういう関係ができてこその「ワンチーム」だと。出身国が違い文化も考え方も違う選手が、ラグビーというスポーツで一つになる。「ワンチーム」とは一つにまとまるという首的ではなく、一つにまとまるまでの過程にあると思います。

湖南市人権まちづくり会議は、できるだけ行政に頼らずに住民主導で人権啓発・人権教育に取り組んできました。まだまだ道半ばですが、皆さんの協力を得て「ブラッシュアップ」を重ね、大きな「ワンチーム」になりたいと思っています。

※ブラッシュアップ…上達のための再勉強、磨き直し

CONTENTS



~子どもの権利条約ができてから30年たちました~

子どもの権利条約 (児童の権利に関する条約) は、子どもの基本的人権を国際的に保障するために定められた条約です。

1989年の第44回国連総会において採択され、1990年に発効しました。 日本は1994年に批准しました。2019年で採択から30年、日本が批准して25年 経ちました。今子どもは、しあわせでしょうか?

はなる 自殺、いじめ、不登校、虐待、貧困、・・・・。

豊かな国であるはずの日本で起こっている問題から首をそらしてはならないと思います。



かつて、子どもは「嵐の子」でした。

風は、時にやさしく、時にきびしい。風は、時につめたく、時にあたたかい。 風にはげまされ、風にきたえられ、風にささえられて 子どもはいつも次の一歩を踏み出してきました。

そよ魔の中で友と語り合うひととき 嵐の中で友と身を寄せ合いじっと耐えるとき そのどちらも子どもの勇気を育んできました。

今、子どもと風を引き離しているのは何?

※子どもの権利条約の正式名称は「児童の権利に関する条約」です。児童というと通常は小学生を 指すことが多いですが、この条例では18歳未満のすべての人のことです。



こ 子どもの権利条約では、すべての子どもに

そして、大人はいつも子どもの最善の利益を考えて行動しなけれなりません。

こころが苦しくなって、首ら冷を絶つ子どもがいます。

2018年度 子どもの自殺は 過去最多 332人

うち かてい もんだい にん おや しっせき にん しんろ なや にん しんろ なや にん ちいと あめい かいとう にん ぜんだい 内 家庭の問題41人、親などの叱責30人、進路の悩み28人、いじめ9人、最も多かったのは不明という回答194人、全体の 6割近くが要尺が不明。 「2018年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」(文部科学省)

学校でいじめにあっている子どもがいます

2018年度 いじめは 過去最多 54万3,933件

うち しょうがっこう けん ちゅうがっこう けん こうこう けん とくべつしょえんがっこう けん しょうがっこう じどう せんにん けん 内 小学校425,844件、中学校97,704件、高校17,709件、特別支援学校2,676代、小学校では比上さりに置1千人あたり66件のいじめがあり初めて50件を超えた。 「2018年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」(文部科学省)

不登校になり、仲間と学び合ったり、遊んだりする機会をなくしている子どもがいます。

2018年度 不登校は 過去最多 16万4,528人

うち しょうがくせい 内 でき さいた ぜんねんどひ にんぞう ちゅうがくせい にん ぜんねんどひ にんぞう しょうかうがくせい 内 小学生44,841人 (過去最多) (前年度比9,809人増)。中学生119,687人 (前年度比10,688人増)。小中学生であわせて にんぞう ねんど とうけいいしいらい ばんめ まお ぞうか しょうちゅうがくせい しゅう なくごう わりあい カース 20,497人増、1966年度の統計開始以来2番目に多い増加となった。 小中学生の子どもに占める不登校の割合は1.7%で過去さいた こうしん 最んどじょうせいと もんだいこうどう かくこうきょうせいとしょうにい しょもんだい かん まようさ もんががくしょう 最多を更新している。 「2018年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」 (文部科学省)

身近な人から虐待されてもSOSに気づいてもらえない子どもがいます。

2018年度 虐待は 過去最多 15万9,850件

55 しんりてきぎゃくだい けん しんだいてきぎゃくだい けん こうだんだいはうけい 3 くつけんすう けんすう 内 心理的虐待88,389件、身体的虐待40,256件、ネグレクト29,474件、性的虐待1,731件。相談対応経路別件数は、件数 が多い順に、警察等79,150件、近隣・知人21,440件、その他18,138件、学校等11,449件、家族11,178件。

なんどじどうそうだんじょ じどうぎゃくたいそうだんだいおうけんすう こうせいろうどうしょう 「2018年度児童相談所による児童虐待相談対応件数」(厚生労働省)

家庭の貧困により未来が閉ざされている子どもがいます。

日本の子どもの相対的貧困率は 15.6% 7人に1人が貧困状態

そうたいてきひんこんりつ 相対的貧困率の15.6%のうちの半数がひとり親世帯であることも大きな問題です。

そうたいてきひんこん こくみん ねんかんしょとく ちゅうおうち み しょとくすいじゅん ひとびと ※相対的貧困とは国民の年間所得の中央値の50%に満たない所得水準の人々のこと。

ねんどこくみんせいかつき そ ちょうさ こうせいろうどうしょう 「2016年度国民生活基礎調査」(厚生労働省)

子どもは未来です。子どもの「崩けて」を見過ごさないで。

かつ どう 活動 たいより こんねんど 今年度はこんな活動をしました。

きょうせい たょうせい たいせつ 共生と多様性を大切にできるまちづくりをめざして

しんけんぶんかそうぞうぶ 人権文化創造部

人権まちづくり会議は「みんなのまちをみんなでつくる人権まちづくり会議」を目標に日々活動を続けています。今年度も「人権文化創造部」による全体研修や各課題別部会の活動を通して幅広い活動をしてきました。

2020年は国連の「人権教育世界プログラム」の第4段階が始まります。重点対象は「若者」であり、 特に共生と多様性の尊重に力点が置かれています。また昨年滋賀県では「滋賀県障害者差別のない 共生社会づくり条例」が施行されました。これらのことの具体化に向けた検討と取り組みを次年度 には推進していきたいと考えています。

1月16日、人権まちづくり会議の全体研修として、とよなか国際協会の主木幸美さんに「『私』から始まる『私たち』の多様性社会」というテーマでお話を伺いました。 生木さんは犬阪の被差別が落でフィリピン人の母と日本人の交の間に生まれ、無戸籍・無国籍児から8歳でやっと日本人となりました。 生木さんは、外国にルーツがあること、被差別部落で生まれたこと、生まれた時は無戸籍・無国籍であったこと、そういった首分に降りかかってきたいくつもの課題をばらばらに切り取らず、全てをひっくるめて『私』から始まる『私たち』のことと提えて、さまざまなマイノリティのルーツを持つ若者・子どもと関わる活動を展開されています。「一人の悩みは必ず社会の問題につながっています。どこかのだれかの問題ではなく、私の問題からはじめてみませんか。」という豊木さんの言葉からこれからの人権まちづくり会議の活動の方向性が覚えてきました。

しんけんぶんかそうぞう ぶ やまもと ひろし 人権文化創造部 山本 博





出産という視点から、女性の人権について考えてみました。 女性の人権部会

参加者の多くは出産経験のある方で、娘さんが出産を迎える方もおられました。お話の後の懇談会では、普段はお互い話す機会のない出産経験などもまじえて語り合い、意外にも出産時に、多くの疑問や不安や苦労を抱えてい



なども話題となりました。

日本のジェンダーギャップ指数(男女格差を表す指数)は153ケ国中、121位で、政治や経済の格差が大きいですが、女性が自分で性や出産について決める権利も大きく関わっています。朝比奈さんを囲んで、女性が選ぶ自分らしい出産の在り方について皆さんで考えることができ、とても有意義な時間となりました。

女性の人権部会 園田 弘子

子ども大人参画で地域活動を~にぎわい広場(子ども食堂)に見学にいきました。~ 子どもの人権部会

近年の日本では、貧困に悩まされている子どもの数が多く問題となっています。「平成28年 国民生活基礎調査」によると、日本の相対的貧困率は15.6%となり、7人に1人が貧困状態にあると言われています。

子どもの人権部会では、子どもの貧困対策について、湖南市内でどのような支援が行われているのかを知るために、石部南まちづくり協議会の「にぎわい広場(子ども食堂)」に見学にいきました。

「にぎわい広場」では、石部南まちづくりセンターが主体となって、子どもたちに無料で食事を提供されています。「にぎわい広場」をして続けたいという思いから、メニューはカレーライスのみにされています。

スタッフの皆さんが、生き生きと活動され、

字どもたちが、炭だちと楽しく話をしながら 食事をしている顔がとても節気に残りました。

***がかれた部員さんの感想には、

「子ども食堂に参加している子どもたちが嬉しそうな顔をしていました。スタッフの方も子ども達に声かけをされていたので、私も地域の子ども達に声かけをしたいと思います。」「今まで地域行事にはあまり参加していませんでしたが、人とのつながりもできるし、もっと積極がなら、参加していこうと思いました。」といった感想が寄せられ、大変有意義な研修となりました。



子どもの人権部会 中川 一彦

温かい気持ちになりました。〜糸賀一雄記念賞 第18回音楽祭〜

「はう けんけん ぶかし **障がいのある人の人権部会**

障がいのある人の人権部会では、今年度も 『糸賀一雄記念賞 第18回音楽祭』に参加をしました。

このイベントは、県内のワークショップで積み重ねてこられた表現を発表される音楽祭です。湖南市からは、『近江学園』や障がい福祉サービス事業所『バンバン』の利用者が参加されていました。

音楽祭が始まると、一心不乱に太鼓をたたく 人、身体でリズムをとる人、会場の私たちに向かって指揮をする人、エネルギッシュな演奏や 楽しそうに動き回る創作ダンス、これまで見たことも聞いたこともない解放感溢れる舞台がありました。そこで繰り広げられるそれぞれの「表現」に圧倒されつつ、わくわくしながら 鑑賞しました。

この音楽祭のように障がいのある人もない人 もみんなが1つになれる場がたくさんできると 良いなと感じました。



最期の時、全ての人が愛されていると感じて旅立つことができる社会づくり 高齢者の人権部会

10月21日、第2回高齢者部会に着取り士の西河美智子さん(一般社団法人 日本着取り士 会 着取りステーション 「たんぽぽ」滋賀ステーション長)を招き、「私は着取り士 わがままな最期をささえます。」というテーマでお話いただきました。

2025年団塊の世代が75歳を迎えます。日本の人口の4人に1人が後期高齢者となります。人生の最期をどこで迎えるか、病院や施設が許容を超え、2030年には「死に場所」難民が47万人出てくる可能性があると言われています(厚生労働省)。しかし、もともと、人の死というものは誕生と同じように日常生活の中であたりまえにあったものです。それが、いつ

の間にか死が日常でなくなっています。誕生に寄り添うじたがあるように人生の最期に



・寄り添う「看取り士」がいたらということで10年前に柴田久美子さんが日本看取り士会を立ち上げられ、現在全国に約700人の看取り士がおられるそうです。人は必ず死にます。そこにちゃんと向き合うと命の尊厳が実感でき生きる力が湧いてきます。一人ひとりの命を受け取り引き継いでいく看取りのお話を聞いて命の重みをあらためて、感じました。

こうれいしゃ じんけんぶかい いのうえ けんじ 高齢者の人権部会 井上 賢治

Sustainable (持続可能) な制度を目指して 外国人の人権部会

今年度も色々な研修や講演会を実施、どれも意義のあるものでした。最も印象に残ったのは、10月15日(火)に行った、「日本ラチーノ学院」と「NPO法人 コレジオサンタナ」の学校訪問でした。どちらの学校も、ブラジル出身の日系人の子ども達にポルトガル語で教育を行っています。

湖南市は滋賀県内の自治体では、人口比率で最も外国籍の人が多く、平成30年12月末現在で5.43%となっています。人数では2,987人(令和2年1月末では、3,347人に増加しています。)です。その中で最も多いのがブラジル出身の方々で、1,489人です。広報こなん2月号の記事によると、湖南市からもラチーノ学院に60名近くの方が通っておられるとのこと

です。みんな楽しそうに、勉強や活動をしていましたが、保護者の経済的負担がとても大きいと聞きました。学校教育法を始めとする様々な法律や制度による制約があるそうです。政府は、少予高齢化による労働人口の不足を補うために、外国人の受け入れ制度や法律を整備していますが、人権を考慮した制度となっているのだろうかと考えさせられました。



がいこくじん じんけんぶかい かい まさのふ 外国人の人権部会 甲斐 正信

コラム

両親のどちらかが日本人でない詩、その子どもたちのことをハーフという言い方があります。 もう一つの国があるわけですから半分じゃなくて二つなんだということでタブルという言い方が多くなっています。

湖南市で生活している自菜の外国籍の人は、ルーツは自本です。けれども生まれ育った国は、ブラジルやペルーなどです。そしてその子どもたちは日本で生まれ育っています。彼らのルーツは二つであったり三つであったりします。このダブルルーツ、トリプルルーツの子どもたちはハーフとかダブルとかいう言い方では簡単に説明できません。

その人をどう捉えるかは、まわりの人が決めることではありません。本人がどう捉えているかがとても大切なことです。



市内児童・生徒 人権ホスタ



日枝中学校 2年 笹部 修平



菩提寺北小学校 5年 中西 紗希



岩根小学校 4年 前田 椛那



石部小学校 5年 村島 惠太



人権標語

みんなある 美顔で登校 するけん剤 ありがとう えがおがふえる おまじない 大切な 寄せきでできた 人の冷 やさしさは みんなのために 使うもの

ぼだいじしょうがっこう ねん **いわみや あゃか** 菩提寺小学校5年 **岩宮 彩可**

み と しょうがっこう ねん **のむら まりん** 水戸小学校2年 野村 茉凜

みくもしょうがっこう ねん はった かほ 三雲小学校5年 八田 迦帆

いしべちゅうがっこう ねん **みょし ななみ** 石部中学校2年 **三吉 七海**